

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 (福井県)「一筆啓上【献血編】」

資料7-3

公益財団法人丸岡文化財団が手紙文化の復権と町おこしを目的に企画した「一筆啓上賞」日本一短い手紙コンクールとのコラボ

【1目的】…… 献血に対する地域住民の意識醸成と若年層への献血思想の普及啓発。

【2内容】…… 献血に関する想いなどを40文字以内で表現した手紙を募集。

応募テーマ：あなたの想いを伝えませんか

【3実施日・場所】…… 平成27年7月1日～10月31日

【4対象者】…… 県民(応募資格制限なし)

【5実施手順】～10月：募集、12月：選考委員会の開催

2月：表彰式、3月：入賞作品集の配付

【6実施に際して苦労したこと】…… 予想以上の応募で取り纏めが大変。

【7予算額】…… 100万円に対して、執行額：約77万円

【8応募数】…… 平成27年度(第2回) 1,453編

(前回実績：平成25年度 783編)

学校等で、学校行事のように取り組んでいただけたことで応募が多かった。

【9効果(評価)】…… 10代・20代からの応募が90%以上(高校生：約65%)と、献血・輸血について

意識醸成できた(推進計画の若年層対策に大きな期待が持てる)

【10改善点(又は問題点又は反省点)】…… 入賞作品を通じて、さらなる県民への周知。

【11今後の課題(又は今後の対応方針)】…… 今後もコラボ事業が継続していけるか否か



【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 (福井県)献血者が安心して献血できる固定施設

献血推進計画の「献血者が安心して献血できる環境の整備」として、既存施設でできる体制の見直し

【1目的】・・・献血者の利便性向上および安心とやすらぎをハードでなく、ソフトで対応

【2予定内容】・・・① 献血者が来所しやすい日の開設と休日の混雑緩和

② 献血者からの疑問の声に丁寧に対応

【3実施日・場所(予定)】・・・平成28年4月1日から、母体

【4対象者】・・・県民

【5昨年度実績】・・・なし



【6実施手順】・・・4月から実施（準備は1月から開始）

① 土曜日休みを金曜日に変更し、土・日に献血できる体制とする。

② 献血者への「Q&Aマニュアル(仮)」を作成し、疑問に対応する。

【7予算額】・・・ 0円

【8目標(効果)】・・・① 年間をとおして土曜日に定期場所(母体)で献血できる。また、土曜日開設することで日曜日の混雑緩和が期待できる。

② 献血・輸血に関して、献血者のちょっとした疑問に受け答えをすることでご理解と信頼が得られ、複数回や紹介・勧誘につながる。

【9実施に向けた課題】・・・如何に安全・安心な固定施設に誘導できるか。

(特に、献血推進2020の対象者である20代・30代への推進)
土曜日開設による職員の勤務と移動採血車の配車調整。